

# JMFF

## 日機連週報

第3529号 2025年11月21日(金)

### CONTENTS

#### ● 見学会報告

広島市環境局中工場、陸上自衛隊海田市駐屯地、マツダ株式会社本社を視察  
— グローバル・バリューチェーン研究委員会、  
企業マネジメント研究委員会 合同見学会を開催 —

#### ● ワシントンレポート特別記事

オクラホマ州タルサ ～ ハートランド・アドバンテージマニファクチャード ～

#### ● 委員募集中

GX研究委員会のご案内

#### ● RRI活動報告

ドイツ Plattform Industrie4.0 と新たな戦略連携を発表

#### ● 日機連の動き

RRI RING プロジェクト全国フォーラム2025 開催のご案内

#### ● 会員イベント情報

(一社)電子情報技術産業協会 セミナー「電子情報産業の世界生産見通し」のご案内  
(一社)電子情報技術産業協会 国際戦略・標準化オンラインセミナー「産業競争力向上  
のための標準化と認証の活用」-法制度、規格、認証の関係性を理解する-のご案内  
(一社)日本電機工業会 11月1日は『IHクッキングヒーターの日』  
11月23日は『炊飯器の日』プレゼントキャンペーンのお知らせ  
(一社)日本電機工業会 「削減貢献量(Avoided emissions)」算定の  
最新動向と企業事例セミナー 開催のお知らせ

#### ● お知らせ

厚生労働省 「化学物質管理強化月間」の実施について

#### ● 機械のチカラ(第2回)

日本チェーン工業会とチェーンの概要

日機連ではホームページを開設しておりますのでご利用下さい。

URL : <https://www.jmf.or.jp>

[バックナンバーはこちらから](#)

<禁無断転載>

## ● 見学会報告

## 広島市環境局中工場、陸上自衛隊海田市駐屯地、マツダ株式会社本社を視察

## — グローバル・バリューチェーン研究委員会、

## 企業マネジメント研究委員会 合同見学会を開催 —

第 12 回グローバル・バリューチェーン研究委員会(委員長:識名朝春、(株)IHI 顧問)および第 13 回企業マネジメント研究委員会(委員長:秦 則明、(株)日立製作所 グローバル渉外統括本部 産業政策本部 渉外戦略企画部 担当部長)は合同にて、11 月 4 日(火)、5 日(水)一泊二日の行程で広島県での見学会を実施した。

1 か所目の広島市環境局中工場では、まず、鷹繫主任技師より工場の沿革や運営方針、広島市の廃棄物処理体制について説明を受けた。中工場の焼却能力は 1 日あたり約 600 トンであり、ごみ焼却時に発生する熱エネルギーを回収し、蒸気タービンを介して発電している。余剰電力は電力会社への売電に活用され、隣接するプールへの温水供給も行っている。また、建築デザインには世界的建築家である谷口吉生氏が携わり、ごみ処理施設でありながら、広島歴史や自然景観と調和する意匠が随所に施されている。見学では、ごみピット、焼却炉、中央制御室、余熱発電設備などを視察し、オペレーションや機器保全の工夫など、機械設備管理の観点からも注目すべき点が多く見られた。機械産業における省エネ・カーボンリサイクルの取り組みにも通じる運用モデルとして、有意義な見学となった。

2 か所目の陸上自衛隊海田市駐屯地(第 13 旅団)では、まず、橋爪旅団長による「日米中関係の行方と日本の安全保障」をテーマとしたブリーフィングを受けた。国際情勢の変化が防衛体制や装備運用に与える影響について、具体的事例を交えて説明がなされた。機械産業に必要な経済安全保障やグローバル・サプライチェーンの安定性確保の観点からも、非常に示唆に富む内容であった。ブリーフィング後は装備品を見学し、07 式機動支援橋、軽装甲機動車、野外通信システムなどの車両型装備品のほか、5.56mm 機関銃 MINIMI、84mm 無反動砲などを視察した。各装備品の担当隊員から性能や運用方法について詳細な説明があり、弊会の会員企業が製造に関わった装備品も含まれていた。災害派遣等の現場を経験した隊員との意見交換が行われ、装備品の信頼性確保や即応体制の重要性について理解を深めた。続いて、車両の点検・部品交換・分解等を行う整備工場を視察し、担当隊員より装備品の安全・品質維持管理に関する説明を受けた。整備技術の向上のみならず、支援部隊として自部隊の運用維持能力を高める訓練の重要性についても説明がなされた。最後に、資料館「顕彰館」を見学し、駐屯地および第 13 旅団の沿革、ならびに広島に所在する駐屯地としての役割等について説明を受けた。

2 日目は、3 か所目の見学地としてマツダ株式会社本社を訪問した。まず、2025 年 4 月にリニューアルオープンしたマツダミュージアムを見学した。助光館長と担当者より、同社の歴史や製品開発の歩み、モノづくり革新の変遷について説明を受けた。展示は、創業期のヘリテージカーから最新モ

デルに至るまでの車両変遷を通じ、マツダが一貫して追求してきた「走る喜び」と「人馬一体」の思想が表現されていた。生産技術の変革紹介やキャットウォークからの製造現場見学、「魂動(こどう)デザイン」の誕生、次世代コンセプトモデル「iconic SP」など、多様な展示があり、各所で詳細な説明と活発な質疑応答がなされた。

続いて、山田本社工場長より、工場全体の概要およびモノづくり革新に関する取り組みなどについて説明を受けた。デジタルツインを活用した開発・生産工程の最適化や、多品種混流生産による変化に強い体制構築への取り組みは、環境変化の激しい機械産業にとって極めて示唆に富むものであった。

午後は、各製造部門の工場を順次見学した。プレス工場では、金型保全の工夫や、デザインと生産技術の融合によって「魂動デザイン」を量産で再現するための取り組みが紹介された。マツダが重視する「匠の技」と「科学の融合」は、技能伝承と自動化の両立を目指す製造現場における好例であった。

車体工場では、「ロボット計画保全」および「自主保全活動」の現場を視察した。設備稼働率の向上や劣化診断技術の自社内製化といった保全力強化の取り組みが紹介され、ロボット減速機の故障診断技術や発生源対策の事例は特に印象的であった。

車両組立工場では、多品種混流生産を実現する柔軟なラインづくりを視察した。計画順序をベースに、変動吸収を可能とする部品供給体制(キットサプライ)や自作 AGV(無人搬送車)による歩行ロス削減など、現場主導による改善事例が多数紹介された。

エンジン組立工場では、「からくり改善」および「自主保全」の活動が紹介された。多品種混流生産において生産性と品質を高い次元で両立するため、中堅社員の「ムダ取り塾」による技能育成や、タクト変更時間短縮、画像処理技術を活用した品質保証の取り組みなど、全員参加による活発な改善活動が行われていた。

最後に、宮脇執行役員を交えてラップアップセッションが行われ、見学全体の振り返りと質疑応答が実施された。マツダが自動車をひとつの芸術作品と位置づけ、品質に一切の妥協をせず、こだわり抜いた作品をいかに早く、効率よく顧客へ届けるかという課題に対し、現場の全員参加による創意工夫が生産性向上の原動力となっている点が特徴的であった。マツダのモノづくりは、日本の機械産業に多くの示唆を与えるものであり、大変有意義な見学となった。



マツダミュージアム記念撮影

〔業務部〕

# Washington Report ワシントンレポート 特別記事

ワシントンコア社(ワシントン DC)より特別記事を寄稿いただきました。

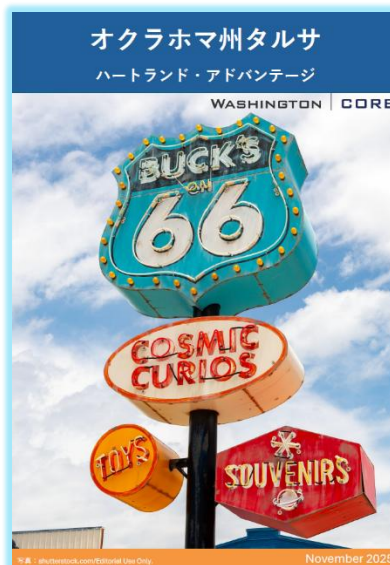
## オクラホマ州タルサ

### ～ ハートランド・アドバンテージマニファクチャード ～

ワシントンコア社による「米国の魅力的な街」シリーズから、オクラホマ州タルサに関する特集記事をお届けいたします。

本稿では、タルサの産業遺産(石油・ガス)から新規テクノロジー(再エネ、ドローン、ロケットなど)主導の都市への変革を取り上げています。

オクラホマ州タルサは、石油・ガスや航空宇宙産業を中心に発展してきた歴史を持ちますが、近年は米国の中規模都市の中でも最もダイナミックなイノベーション拠点のひとつへと急速に進化しております。その変革を牽引しているのは、タルサ市が主導する経済戦略です。スマートなインフラ投資、人材育成、そして包括的な成長政策を組み合わせ、持続的な経済発展を目指しております。この取り組みの中心に立つのが、タルサ市経済開発最高責任者(Chief Economic Development Officer)エラン・パースリー(Erran Persley)氏です。米国内外での開発経験を持つパースリー氏に、グローバルな視点からタルサの挑戦と未来像をインタビューしました。



記事の詳細は、画像か下記 URL をクリックして下さい。

<https://www.jmf.or.jp/jmf/wp-content/uploads/2025/11/WCOREtr7.pdf>

本資料及び米国投資・技術動向全般にご関心のある方はワシントンコアにお問い合わせください。

<https://www.wcore.com/home/contact-jp/#form-jp>

お問い合わせお待ちしております！

WASHINGTON | CORE

## ● 委員募集中

## GX研究委員会のご案内

日機連では、分野別に 4 つの研究委員会(技術イノベーション研究委員会、GX研究委員会、グローバル・バリューチェーン研究委員会、企業マネジメント研究委員会)を設置し、会員参画の下で活動を行っています。会員企業・団体の皆様は、登録(委嘱)手続きのみで、委員会へのご参加が可能となりますので、この機会に是非ご登録をご検討ください。

今回、ご案内するのはGX研究委員会です。

GX研究委員会では、「(1)GX のための国内外の政策・規制、国際的な枠組みに関する調査」、 「(2)GX に関する技術開発動向」、 「(3)GX に関する国内外の政策・技術によってもたらされる事業機会の探索」の 3 つを柱にテーマ設定を行い、有識者をお招きして意見交換及び課題検討を行っています。

経済産業省は、2024 年 12 月に成長志向型の資源自律経済戦略の実現に向けた制度見直しに関する取りまとめを行い、2025 年 5 月には資源有効利用促進法の改正法案が成立しました。改正資源法では、成長志向型の資源自律経済戦略の実現に向けた制度見直しに関する取りまとめを踏まえ、①再生資源の利用義務化、②環境配慮設計の促進、③GX に必要な原材料等の再資源化の促進、④CE コマースの促進という4つの制度的枠組みを措置しました。

今回、経済産業省 GX グループ 資源循環経済課長 三牧純一郎様をお迎えして、「成長戦略としての資源循環経済の確立に向けた取組について(仮)」と題してご講演いただきます。

記

## &lt;第 12 回GX研究委員会&gt;

- 日 程 : 2025(令和 7)年 12 月 22 日(月) 14:30~17:00
- 講 演 : 「成長戦略としての資源循環経済の確立に向けた取組について(仮)」
- 講 師 : 経済産業省 GX グループ 資源循環経済課長 三牧 純一郎 様

研究委員会へご興味をお持ちの会員様対象に、お試し Web 参加を受入れます。会場参加は、研究委員会への登録後に可能となります。お試し Web 参加ご希望の方は、以下、必要事項を 12 月 12 日(金)までに事務局メールアドレスにご連絡ください。開催当日までに Web 会議用の招待メールをお送りします。研究委員会のご登録に際して、役職・年次・年齢等の制限は一切ございませんので、是非お気軽にご検討ください。なお、お試し Web 参加をされた会員様には、後日、研究委員会への登録に関するご案内をお送りしますので、予めご了承ください。(会員様の委員登録は、無料です)

## &lt;お試し Web 参加 申込必要事項/申込期限:2025 年 12 月 12 日(金)&gt;

件 名 : 第 12 回GX研究委員会 お試し Web 参加希望  
 本 文 : ①企業名/団体名:一般社団法人日本機械工業連合会 ②ご所属:経営企画部  
 ③ご役職:主任 ④氏名:機械 花子(きかい はなこ) ⑤メールアドレス:sample123@jmf.or.jp

## &lt;委員会登録お問い合わせ先&gt;

事務局:日本機械工業連合会 業務部([gyomu@jmf.or.jp](mailto:gyomu@jmf.or.jp))

● RRI 活動報告

ドイツ Plattform Industrie4.0 と新たな戦略連携を発表

ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI)は、ドイツ インダストリー 4.0 の推進母体である Plattform Industrie4.0 と 2016 年に交わした共同声明をアップデートし、新たな戦略連携の推進に合意し 10 月 21 日に公表しました。今後、産業 IoT/インダストリー4.0 の分野での協力を更に深化させていきます。

2016 年の日独政府間共同声明に基づいて発行された両団体の共同声明から 10 年目となり、その間に製造業を取り巻く環境は大きく変わりました。同時に AI をはじめとする技術も大きな深化を遂げています。同時に製造に関するビジョンや視点について日独で多くの議論がなされてきました。

両団体はこれらを整理するとともに、これまでの 10 年間に培った信頼関係の上に新たな戦略連携を議論しました。

詳細は、RRIのホームページにアクセスして下さい。[https://www.jmfrri.gr.jp/g-j\\_jointstatement2025/](https://www.jmfrri.gr.jp/g-j_jointstatement2025/)



〔ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI)〕

日機連の動き

○ 今後の会合予定

開催日時		会合概要	場 所
11月	25日(火) 12:15~	2025年度第2回総会及び関連行事	鐘山苑3階 マーヴェラスホール
	28日(金) 13:30~	IEC61496WG	日機連会議室3
	28日(金) 14:00~	講演会「機械産業の過去・現在・未来-CAP 産業分析と「大きなSD G」 講師:早稲田大学 藤本隆宏教授	日機連会議室1
12月	1日(月) 15:00~	第80回社員満足向上懇話会 及び懇談会(大阪事務所)	日機連 大阪事務所
	2日(火)~ 3日(水)	第12回技術イノベーション研究委員会・見学会	福島県南相馬市・浪江町
	3日(水) 15:30~	第99回(2025年度第3回)関西事業活力研究委員会及び懇親会(大阪事務所)	ホテル阪急インターナショナル

9 日(火) 15:00～	<p><b>第 13 回 GVC 研究委員会&amp;第 14 回企業マネジメント研究委員会(合同開催)</b></p> <p>テーマ:「2026 地経学重要論点と、日本企業が激動の世界で戦うための M&amp;A・ステークホルダーとの向き合い方(仮)」</p> <p>講師:地経学研究所 経営主幹 新興技術グループ長 / (株)経営共創基盤 取締役 CLO M&amp;A アドバイザリーグループ 統括責任者 塩野 誠 様</p>	<p>日機連会議室 1</p> <p><b>お試し WEB 参加募集中</b></p>
9 日(火) 15:00～	<p><b>第 491 回総務連絡会及び懇親会</b></p>	<p>日機連会議室 3</p>

## ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI) RING プロジェクト全国フォーラム 2025 開催のご案内

ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI)が事務局を担当している RING プロジェクトでは、2025 年 12 月 3 日(水)10:30～12:20、2025 国際ロボット展において、「RING プロジェクト全国フォーラム 2025 ～オールジャパンで進めるロボットの社会実装～」を開催します。その参加者募集についてお知らせします。

### 記

#### ● 開催概要

開催日時:2025年12月3日(水) 10:30～12:20

タイトル:RING プロジェクト全国フォーラム 2025～オールジャパンで進めるロボットの社会実装～

会場: 2025 国際ロボット展メインステージ(東京ビッグサイト 会議棟 1F レセプションホール A)

アクセス:東京都江東区有明3丁目11-1 <https://irex.nikkan.co.jp/map/>

#### ● アジェンダ

- 開会挨拶 東洋大学 松元明弘 氏
- 基調講演① 小人の靴屋プロジェクト～自動化で魅力ある企業へ～  
(株)有川製作所 有川富貴 氏
- パネルディスカッション
- 基調講演② 経済産業省が進めるロボット政策  
経済産業省 石曾根智昭 氏
- 閉会挨拶 日本機械工業連合会 田川和幸 氏

●聴講申込 聴講申込 URL :<https://irex.nikkan.co.jp/webinar/detail/1601>

※申込には日刊工 ID への登録が必要です。申込締切:先着順

●お問合せ先 RING プロジェクト事務局(ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI)/  
PwC コンサルティング合同会社) E-mail:jp\_ring\_pj@pwc.com

詳細は、以下のホームページを参照願います。 <https://www.jmfrri.gr.jp/events/events-8629/>



## 会員イベント情報

### (一社)電子情報技術産業協会 セミナー「電子情報産業の世界生産見通し」のご案内

一般社団法人 [電子情報技術産業協会\(JEITA\)](#)では JEITA 赤本をベースに主要分野の世界市場動向・見通しについての解説と共に注目分野の動向調査結果について、最新のレポートをお届け致します。エグゼクティブやマーケット担当者必見の講演会ですので、ご案内いたします。

記

### セミナー「電子情報産業の世界生産見通し」開催の概要

日時：2026年1月23日(金) 13:30~17:00  
 会場：大手町・大手センタービル 4F 401-403 会議室(先着 50 名)並びに WEBEX  
 (東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル 4F)会場参加は、限定 50 名(先着順)  
 参加費：会員/一般共通：13,200 円(税込) 早割特別価格：6,600 円(税込)  
 学生は、無料(但し、リモート参加のみ)

※ 早割特別価格は 12 月 26 日(金)までにお申し込み受付をされた方のみ適用されます。

#### <プログラム>

13:30~13:35 開会の挨拶 (一社)電子情報技術産業協会 専務理事 長尾尚人氏  
 第一部：世界生産見通し

13:35~13:50 電子情報産業の世界生産見通し 全体概要報告  
 ~世界生産・日系企業生産 2026 年の見通し~  
 調査統計委員会 委員長 小峰将彦氏(三菱電機株)

13:50~14:05 ソリューションサービス動向  
 ~DX が牽引する日本のソリューションサービス市場~  
 ソリューションサービス事業委員会 副委員長 小堀賢司氏(日本電気株)

14:05~14:20 半導体動向~半導体世界統計から読み解く未来~  
 半導体統括委員会 委員 近森謙志郎氏(ローム株)

14:20~14:35 電子部品動向~電子部品需要 電子機器と電子部品の成長トレンド~  
 電子部品 調査統計専門委員会 委員 阪田 純氏(株村田製作所)

#### 第二部：注目分野に関する動向調査

14:55~15:30 データセンターの動向~世界市場の現状、AI データセンターの特徴と製品トレンド、日本市場の課題と政策・技術による対応~  
 株富士キメラ総研 第二部門第三課 担当課長 羽賀史人氏

15:30~16:15 【特別講演】AI 社会を担うデータセンター時代の経営と戦略  
 ~さくらインターネットの挑戦と展望~  
 さくらインターネット株 代表取締役社長 田中邦裕氏

16:15~17:00 【特別講演】デジタル産業のビジョン~データセンターの動向と関連施策について~  
 経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課長 兼 AI 産業戦略室長 渡辺琢也氏

[講演会の詳細やお申込みについては、こちらのリンクから、\(一社\)電子情報技術産業協会のホームページをチェック!!](#)

**JEITA** 一般社団法人 電子情報技術産業協会

**(一社)電子情報技術産業協会 国際戦略・標準化オンラインセミナー 「産業競争力向上のための標準化と認証の活用」 ～法制度、規格、認証の関係性を理解する～のご案内**

2025 年 6 月に経済産業省より「**新たな基準認証政策の展開ー日本型標準加速化モデル 2025ー**」が公表され、特定分野での国主導の戦略的標準化と国内認証機関の強化などの取り組み方針が示されています。

一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)では、この度、この方針のオンラインセミナーを開催いたします。本セミナーでは、経済産業省から基準認証に関する政策の動向を紹介して頂くと共に、法制度、規格及び認証の関係を、機能安全、サイバーセキュリティ、IoT 製品のセキュリティ、AI マネジメントシステム等を例に紹介します。この機会に是非ご参加いただき、法制度、規格、認証の関係性について理解を深めると共に、各社の事業活動、標準化活動に役立てて頂ければ幸いです。

記

**JEITA 国際戦略・標準化オンラインセミナー開催概要**

日時 : 2025年12月15日(月) 9:30~12:00

主催 : JEITA標準化政策部会/標準化運営委員会

開催形態 : Webex Webinarsによるオンラインセミナー

参加費 : 無料 申込期限 : 2025年12月8日(月)

※ 資料及びオンラインセミナーへの参加案内は、開催4日前を目途にご連絡致します。

**<セミナー プログラム>**

9:30 **開会挨拶・進行**

岸上 智氏 (JEITA 標準化政策部会/標準化運営委員会委員長(三菱電機株))

**第一部 政策等の動向について**

9:35 「**新たな基準認証政策の展開について**」

中野真吾氏 (経済産業省 イノベーション・環境局 国際標準課 課長)

**第二部 法制度、規格、認証の関係**

10:20 「**規格適合と第三者認証ー機能安全とサイバーセキュリティの事例**」

神余浩夫氏 (三菱電機株) 知的財産センター 知財戦略部 標準化戦略G)

10:50 「**IoT 製品のセキュリティ確保に向けて ～ラベリング制度 (JC-STAR) ～**」

神田雅透氏 ((独)情報処理推進機構 セキュリティセンター フェロー/技術評価部 部長)

11:20 「**AI マネジメントシステム認証制度について**」

高村博紀氏 ((一財)日本品質保証機構 人事部 副参事)

**【事務局】** 一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)

事業推進部(標準化担当)横倉・布川・澤田

TEL:070-3297-8662 E-mail:[r-yokokura@jeita.or.jp](mailto:r-yokokura@jeita.or.jp)

[セミナーの詳細やお申込みは、こちらから JEITA ホームページの案内をチェック!!](#)

**JEITA**

一般社団法人  
電子情報技術産業協会

**(一社)日本電機工業会 11月1日は『IHクッキングヒーターの日』、  
11月23日は『炊飯器の日』 プレゼントキャンペーンのお知らせ**

[一般社団法人 日本電機工業会\(JEMA\)](#)では、IHクッキングヒーターのさらなる普及により日本の食文化が豊かになる事を願い、「IH」の文字にちなんで11月1日を『IHクッキングヒーターの日』と制定し、「快適・クリーン・おいしい」工夫が活かされたIHの魅力を知って頂くための啓発活動を行っています。IHクッキングヒーターは発売開始から35年が経過し、昨今では買い替えの需要も堅調に推移しています。普及当初と比較して、機能面も大きく進化しています。2025年度は、国内販売開始35年を記念し、Xをフォロー&リポストして頂いた人の中から抽選でプレゼントが当たるキャンペーンを実施いたします。



また、(一社)日本電機工業会では、日本食に欠かせないお米の収穫への感謝と更なる消費拡大を願い、11月23日を「炊飯器の日」と決めました。11月23日は国民の祝日「勤労感謝の日」にあたり、お米の収穫を祝う新嘗祭も行われます。最近の炊飯器はヒーターで加熱するマイコン式から、IHコイルにより内釜自体が発熱するIH式へと大火力化し、美味しいお米を炊くために必要な大火力を実現しています。また、IH炊飯器なら、細かな温度制御ができるので、黄ばみ、パサつき、べたつきを抑えて、ごはんをホカホカのままおいしく保温することができます。2025年度は、IH炊飯器に搭載されている様々な便利な機能や上手な使い方を広く知って頂くために、各社のIH炊飯器などが抽選で当たるプレゼントキャンペーンを実施いたします。



詳しくは各プレゼントキャンペーン概要をご覧ください。

記



### 「炊飯器の日」プレゼントキャンペーン概要

**応募期間:** 2025年11月1日(土)~11月30日(日)

**応募方法 1** [キャンペーンページ](#) にてクイズに回答(プレゼント:各社の炊飯器 7名様)

**応募方法 2** [X\(旧Twitter\)](#)にてフォロー&リポスト(プレゼント:全国共通おこめ券 4枚(2,000円分)10名様)

(一社)日本電機工業会 調理家電専門委員会 加盟各社(五十音順)  
シャープ(株)、象印マホービン(株)、タイガー魔法瓶(株)、東芝ライフスタイル(株)、パナソニック(株)、日立グローバルライフソリューションズ(株)、三菱電機(株)

### 「IHクッキングヒーターの日」プレゼントキャンペーン概要

**応募期間:** 2025年11月1日(土)~11月30日(日)

**応募方法** [X\(旧Twitter\)](#)にてフォロー&リポスト(プレゼント:北海道十勝牛切落しすき焼き用 500g・3名様)

(一社)日本電機工業会 IHクッキングヒーター専門委員会 加盟各社(五十音順)  
三化工業(株)、パナソニック(株)、日立グローバルライフソリューションズ(株)、三菱電機(株)

[「炊飯器の日」のキャンペーンへのリンク](#) [「IHクッキングヒーターの日」のキャンペーンへのリンク](#)

**どちらのキャンペーンも応募  
締切は11月30日まで!!**

本キャンペーンの問合せ先 (一社)日本電機工業会 家電部 企画業務課  
TEL 03-3556-5887 FAX 03-3556-5891

## (一社)日本電機工業会 「削減貢献量 (Avoided emissions)」算定の最新動向と企業事例セミナー 開催のお知らせ

[一般社団法人 日本電機工業会\(JEMA\)](#)では、この度、「削減貢献量(Avoided emissions)」算定の最新動向と企業事例」のセミナーを開催するので、お知らせいたします。カーボンニュートラル実現に向け、企業の社会課題解決力を示す指標として「削減貢献量(Avoided emissions)」の活用に、近年大きな注目が集まっています。

本セミナーでは、こうした削減貢献量の算定に関する国内外の規格やガイダンスの最新動向についてご解説いただくとともに、事業会社における削減貢献量の活用事例や、金融機関における削減貢献量指標の活用事例、活用の意義(業界の動向や取組)についても、先進企業の取り組みをご紹介します。

業界全体での CN 達成に向けて取り組みを進めて行くべく、CN 行動計画にご参加頂いている企業や電機・電子温暖化対策連絡会企業の皆様はもちろんのこと、関心をお持ちの方は是非ご参加頂ければ幸いです。ご多忙かとは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加を賜りますようお願い致します。

記

### 「削減貢献量(Avoided emissions)」算定の最新動向と企業事例セミナー」概要

- 日 時: 2025 年 12 月 10 日(水) 13:30~16:50
- 開催形式: Cisco 社 Webex を用いたウェビナー形式オンライン
  - \* お申し込み頂いた方には、後日参加 URL 等をご連絡申し上げます。
- 参加対象者: 電機・電子業界「CN 行動計画」参加企業、電機・電子温暖化対策連絡会加盟団体の会員企業、その他「削減貢献量」に関心のある企業・団体
- 参加費: 無料    ■ 定員: 500 名    ■ 申込締切日: **2025 年 12 月 3 日(水)17 時**
  - プログラム(予定) ※都合により、プログラムは予告なしに変更となる場合があります。
- 13:30~13:35 **開会挨拶** 田村光範氏  
2025 年度 電機・電子温暖化対策連絡会運営委員会 委員長(株)日立製作所
- 13:35~14:30 **第 1 部: 削減貢献量に関するフレームワーク・算定方法論について**
  - (1-1) WBCSD Avoided Emission ガイダンスの解説  
上村光麗氏(リクロマ(株) コンサルティング事業部 コンサルタント)
  - (1-2) IEC 63372 の解説 蛭田貴子氏(シュナイダーエレクトリック(株) CS&Q 本部長)
- 15:35~16:10 **第 2 部: 削減貢献量の活用について**
  - (2-1) 温暖化対策連絡会企業における活用事例  
米川和雄氏(パナソニック ホールディングス(株) 渉外室 環境渉外課長)
  - (2-2) 金融機関における活用事例、活用意義に関する解説  
大島彰雄氏(野村アセットマネジメント(株) サステナブル投資戦略室 室長)
- 16:45~16:50 **閉会挨拶** 一般社団法人 日本電機工業会

説明会の詳細及びお申し込みについては、[\(一社\)日本電機工業会の公式サイト](#)をご参照ください。

問合先: 電機・電子温暖化対策連絡会



(事務局)一般社団法人日本電機工業会 環境ビジネス部(担当: 齋藤・蒲原)

E-mail: [ontairen\\_jema@jema-net.or.jp](mailto:ontairen_jema@jema-net.or.jp)(@を半角に直してください) Tel: 03-3556-5883

お知らせ

厚生労働省 「化学物質管理強化月間」の実施について

厚生労働省では2月1日から1ヶ月間、「**化学物質管理強化月間**」を実施します。

「化学物質管理強化月間」は、広く一般に職場における危険・有害な化学物質管理の重要性に関する意識の高揚を図るとともに、化学物質管理活動の定着を図ることを目的としております。

第2回の「化学物質管理強化月間」スローガン

**「慣れた頃こそ再確認 化学物質の扱い方」**

詳細については、[添付の実施要項](#)をご参照ください



癒しのバリ島 エンマゴチ(写真提供:M.W 氏)

# 機械のチカラ (第2回)

## 日本チェーン工業会とチェーンの概要

日機連は、機械工業の総合的な進歩発達を図ることで、日本経済の発展に寄与する目的で設立された団体ですが、連合会として機械工業と密接な関連を有する様々な業界団体様に「団体会員」として、ご加入頂いております。

このコーナーでは、日本の機械工業を支える、当会の団体会員様をご紹介します。今回ご紹介するのは、見えないところで暮らしを支える「チェーン」の工業会様です。

**概要:** 「[日本チェーン工業会](#)」は、チェーンの製造・販売を行う企業で構成し、産業機械用チェーンなどの技術開発、品質向上、市場開拓等に取り組んでいます。チェーン関連の企業10社が会員となっています。会員企業10社の日本でのシェアは94%に及んでいます。



**歴史:** 昭和35年5月、ローラチェーンの製造業の健全な発展と融和親睦に寄与することを目的に任意団体として設立されました。

**業種:** チェーンは、自動車やオートバイそして船舶などのエンジンに関わる高速高回転を支える他、さまざまな産業機械の重要部品として使用されています。産業社会や日常生活の様々な場面で、チェーンは産業機械の伝動機構の重要な役割を担い、人々の安全と安心を支えています。



**活動:** 日本チェーン工業会のホームページでは、暮らしや産業を支えるチェーン、チェーンの歴史、品質・安全・環境への対応などについて判りやすく説明しています。

また、[工業会メンバーのページ](#)では、会員10社のホームページにリンクし、その内容が判ります。是非一度、ご覧下さい。



[チェーンに関する専門業界団体、日本チェーン工業会のホームページへのリンクはこちら！！](#)